

# 平成22年度 横浜市立大学入学者選抜要項

## 目 次

<横浜市立大学アドミッションポリシー>..... 1

### 一般選抜

1. 学部学科別募集人員..... 5
2. 出願資格..... 5
3. 出願期間..... 6
4. 選抜方法
  - (1) 第1次選抜..... 6
  - (2) 個別学力検査（第2次試験）..... 6
  - (3) 最終合格者の決定..... 6
  - (4) 合格発表日..... 6
  - (5) 入学手続日..... 6

### <学部別基準>

- 国際総合科学部..... 7
  - 国際総合科学科（国際教養学系、経営科学系、理学系）
- 医学部..... 8
  - 医学科、看護学科

### 特別選抜

1. 推薦入学（指定校制推薦入学）..... 11
2. AO入試..... 11
3. 海外帰国生特別選抜..... 12
4. 私費外国人留学生特別選抜..... 13

### 編入学選抜

- 医学部看護学科..... 14

# 横浜市立大学 アドミッションポリシー

## 1 学部・学科構成

- 国際総合科学部 国際総合科学科
- 医学部 医学科  
看護学科

## 2 歴史と特色

横浜市立大学は、1882（明治 15）年に創設された横浜商法学校、1874（明治 7 年）に開院した十全病院、および 1898（明治 31）年に創設された横浜市立十全看護婦養成所をその原点としています。外国と対等に貿易を行うための商業教育、また横浜の医療の発展につくす万人のための医療の実施がこれらの設立の目的でした。こうした流れを発展させる形で、1949（昭和 24）年に新制大学として横浜市立大学商学部が、3年後の 1952（昭和 27）年には医学部が発足しました。どちらも「人の役に立つ人となれ」という精神が根底にあります。また商学と医学という 2 つの領域をつないでより総合的な大学となるよう、特に国際港都横浜の文化的発展を担う国際的な青年を育成するため、同じ 1952 年に文理学部が設置されました。以来、1995（平成 7）年の文理学部改組による国際文化学部と理学部の開設、および大学院の設置・拡充を経てなお、「国際港都横浜市における学術の中心として研究教育ならびに能力に富む人材の育成に努め、世界の平和と人類の福祉に貢献し、市民生活ならびに文化の向上に寄与する」という建学の精神を継承し、発信型の国際的人材を横浜から世界に送り出しています。

社会が経済や科学技術と密接に関連しながら地球規模で足早に変化する中で、2005（平成 17）年の公立大学独立行政法人化を機に 3 学部（商学部・国際文化学部・理学部）を国際総合科学部に統合し、柔軟なカリキュラム編成を導入しました。同時に医学部では看護短期大学部を 4 年制とし、医学科と看護学科の 2 学科体制としました。これにより世界有数の沿岸大都市（Coastal Mega-City）横浜市が有する大学として、世界を見据えて活躍する国際感覚豊かな若者を育成する目標にむけて、大学をあげてリベラルアーツ教育（実践的な教養教育）の拡充、国際化推進、先端的科学研究の遂行に努めています。

## 3 本大学の使命と 3 つの理念

横浜市立大学は、学生一人ひとりの個性を尊重し、幅広い教養と磨かれた専門性が見わるよう、きめ細やかで実践的な教育を推進します。そして国際都市・横浜にふさわしい国際性と自由で柔軟な考えをもち、社会の発展や人類の文化向上および福祉に貢献しようという高い志をもつ人間を育成すると共に、学術の中心として世界に通用する大学となります。

- 1 学習成果を最大限に引き出し、自ら課題を見つけ探求する姿勢と様々な問題を解決する能力が備わった人間の育成に努めます
- 2 学生のキャリア形成に主眼を置いた様々な支援プログラムを提供し、国際社会で通用する人間の育成に努めます
- 3 横浜市が有する意義ある大学として、人材育成、産学連携、市民医療など地域への貢献を推し進めます

## 4 学部の教育目標

### 実践的な共通教養教育

変革の時代に求められる積極的な姿勢と課題を解決する力を備えた人間を育成するために、自ら問題を発見し、取り組むことができるよう「問題提起科目」「技法の習得科目」「専門との連携科目」からなる実践的な共通教養教育を全学的に行います。英語を中心とした語学力と文章表現・発表能力の開発を重視し、国際的な場で活躍できる基礎を築きます。

### 国際総合科学部

国際的視野を有し 21 世紀をきり拓く人間を育てるため、国際基準を満たす教育を行います。課題発見から解決まで一貫して取り組むことができるよう、論理的な思考力、表現力、発信力を育成します。専門教養教育は 3 つの学系（各 2 コース）と 1 つの融合領域（1 コース）からなる 7 つのコースに分かれて行います。基礎と専門が車の両輪となるよう、共通教養と専門教養との単位の均衡を図っています。

**国際教養学系〔人間科学コース／国際文化創造コース〕**においては人間と人間関係に対する洞察力を備え、自文化・異文化に精通し、多彩な情報発信能力を備えて国際交流や社会に貢献できる人材の育成を目指します。

**理学系〔基盤科学コース／環境生命コース〕**においては自然科学の発想や知識、技術を身につけ物質科学、生命科学、地球環境問題、新エネルギー開発、食糧増産などの専門分野で活躍できる人材の育成を目指します。

**経営科学系〔政策経営コース／国際経営コース〕**においては経済学・経営学・会計学や法律学などを身につけ、現実に生起する社会現象や社会問題に解決策を提案し、新たな発想に基づいた企画を立案できる人材の育成を目指します。

**融合領域〔ヨコハマ起業戦略コース〕**においては、横浜をはじめとした世界中の都市や地域が抱える様々な問題に、グローバルで学際的な視点から総合的に対応できる起業マインド豊かな人材の育成を目指します。

コース選択においては 1 つのコースを専攻するだけでなく、2 つのコースを主専攻・副専攻とすることで広い視野や対応力を培うことも可能としています。卒論演習を必修科目とすることで国際性、総合性、専門性をもつ人材育成を目指します。

### 医 学 部

生物学、化学などの基礎科学のみならず、文学、哲学、倫理学などの人文科学にも確固とした基礎を置き、学問の府として広く医学・看護学および医療の知識と技術を授け、高度な学識や倫理観と実践能力を培うことによって、地域社会や国際社会で活躍・貢献することのできる人材を育成するとともに創造的研究を遂行し、社会の発展と人類の福祉に寄与する医学・医療分野の指導的な人材を育成します。

**医学科**においては医学科、医学研究科、附属 2 病院が密に連携して医学教育を行うとともに、医学・医療分野における課題を解決するための創造的研究を推進し、最新の医療技術を臨床現場に導入して、全人的医療を実践する人材の育成を目指しています。プライマリ・ケア医をはじめ、生命科学、医学、医療の分野をリードする臨床医、医学研究者、医学教育者、医療行政官など、医学・医療の分野における指導的医師・研究者を育成します。

**看護学科**においては今日の保健医療・福祉分野における医療技術の進歩の中、健康問題に関する多様なニーズに対して高い専門性と共に生命と個人の尊厳を尊ぶ姿勢や倫理観を有し、他の専門職との連携を図り、リーダーシップの発揮できる人材の育成を目指しています。

## 5 求める学生像、望ましい資質

### ▼ 横浜市立大学が求める学生像 ▼

横浜市立大学では、学部・学科・学系によらず、次のような人を求めます。

- 既成の枠組みや慣行にとどまらず、自由で創造的な姿勢で真理を探究する人
- 課題意識を持って、自らの人生を生き抜く強い意志力を備えた人
- 地域社会のみならず、広く人類社会に貢献する意欲を持つ人

### ▼ 学系・学科に望ましい資質 ▼

#### 国際総合科学部

##### 国際教養学系 . . . . .

- 人間と自文化・異文化についての旺盛な好奇心を持つ人
- 外国語への関心を持ち文化交流や情報発信に積極的な人
- 社会や文化について深く考え追求できる人

##### 理学系 . . . . .

- 自然科学に対する強い関心と探求心がある人
- 実験し発見することに喜びを感じられる人
- 自然科学の発展のために意欲あふれる人

##### 経営科学系 . . . . .

- 経済・社会問題など社会科学の話題に興味を持つ人
- 企業経営や市場、政策、地域に対する旺盛な好奇心を持っている人
- 多様な観点から経済社会の問題に取り組む意欲を持つ人

##### 融合領域 . . . . .

- まちを歩くのが好きで社会の動きや流行に敏感な人
- 新しいことにチャレンジしてあきらめない人
- 枠におさまらずにいろいろなことに興味をもつ人

#### 医学部

##### 医学科 . . . . .

- 高い倫理観を有し、幅広い教養と医学への関心の深い人
- 柔軟性と協調性があり、思いやりと命を尊ぶ心を有する人
- 医学医療分野の担い手たる責任感・使命感を持つ人
- 科学的探求心と創造性を持ち、世界の医学・医療の進歩に貢献する熱意を有する人

##### 看護学科 . . . . .

- 看護学を志し、人々の幸福や安寧のために貢献したいという意志を有する人
- 問題解決能力と変革意識が高く、他者との協調性に富んだ人

## 6 多様な入学者受入制度

### ◆一般選抜入学試験◆

#### 国際総合科学部

基礎学力を評価するセンター試験（一次試験）と、志望分野についての問題意識、理解力、論理的思考力、外国語能力などを総合的に評価する論文試験（二次試験）により選抜します。

**国際教養学系**の論文試験においては現代世界の社会・文化問題に知識と関心を持っているかどうか、複雑な社会・文化現象に対する分析力と理解力をもっているかを評価します。

**理学系**の論文試験（総合問題を含む）においては物理・化学・生物学・数学の基礎をよく理解し、自然現象や科学技術などを基本に根ざした視点でとらえる力があるかを評価します。

**経営科学系**の論文試験においては社会現象に対する理解力や思考力、および社会科学に関する総合的な能力を有するかを多角的に評価します。

#### 医学部

基礎学力を評価するセンター試験（一次試験）と、二次試験により選抜します。

**医学科**の二次学科試験においては自然科学（理科）、外国語（英語）、数学を課し、いずれの分野においても基礎をよく理解しているかどうか、また小論文と面接においてはものの考え方やコミュニケーション能力を評価します。

**看護学科**の二次試験においては保健医療・福祉の分野に関わる問題・課題についての基本的な知識や自己の見解などを論理的に表現できる力を評価します。

### ◆特別選抜入学試験◆

#### 国際総合科学部

国際教養学系／理学系／経営科学系

##### 推薦入学(指定校制)

本学部への入学実績に基づき指定する高等学校の在籍者を対象として、在学中の英語を含めた幅広い基礎学力を備えているかを評価する書類選考と面接により評価します。

##### AO入試

高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。関心ある分野における積極的な活動やそれに対する自己評価、入学後の目標を記した書類および高等学校の調査書(またはそれに代わる書類)、英語外部試験の成績の提出が必要です。1次の書類選考合格者には2次試験として書類内容に即したプレゼンテーションを課し、総合判定します。

##### 海外帰国生特別選抜

外国の高等学校で学んだ人\*を対象に実施します。英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価するため、筆記試験および面接により評価します。

##### 私費外国人留学生特別選抜

日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験および英語外部試験において一定以上の成績を修めていることが必要です。日本語能力および思考力や基礎学力について、筆記試験および面接により評価します。

\*日本国籍を有する人または日本国の永住許可を得ている人その他これに準ずる人

#### 医学部

看護学科

##### 推薦入学(指定校制)

本学看護学科が指定した高等学校の在籍者を対象として、看護への志向性と十分な基礎学力を在学中の調査書および面接により評価します。

##### 編入学選抜

看護系短期大学・専修学校出身者を対象として、3年次編入試験を実施します。本学看護学科が目指す看護職者としての適格性やより質の高い看護や専門性の追求可能な基本的能力を評価します。

# 一 般 選 抜

## 1. 学部学科別募集人員

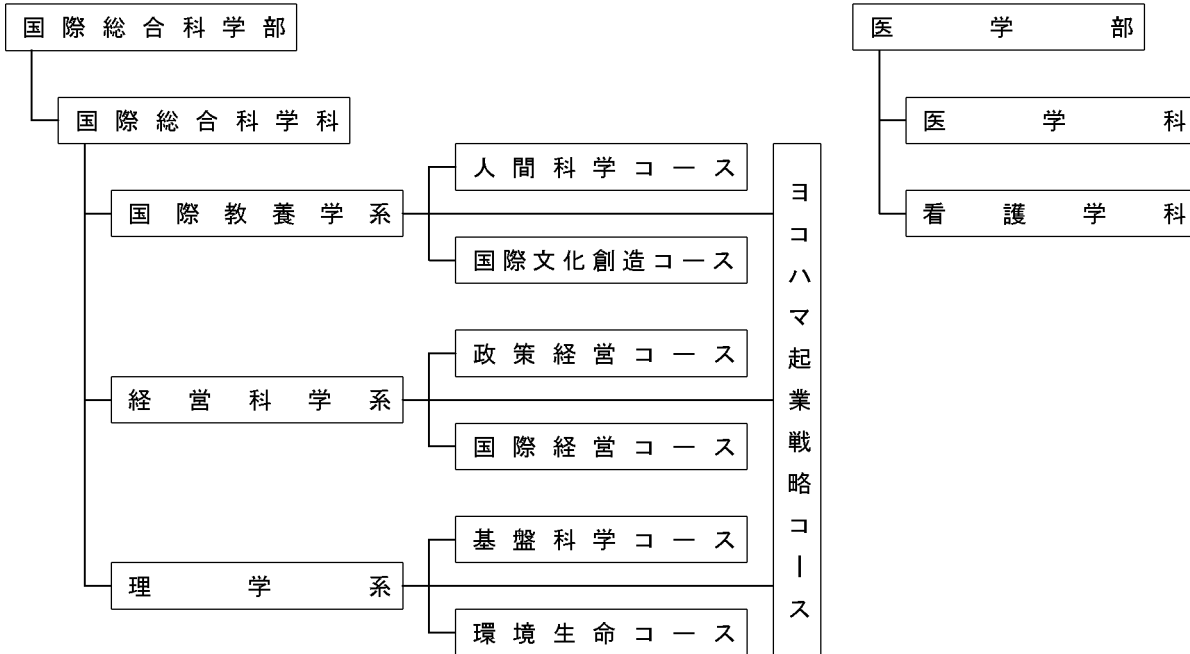
(国公立大学前期日程試験のみ実施します。後期日程試験は実施しません。)(単位：人)

学 部	学 科 ・ 学 系	募 集 人 員	備 考
国 際 総 合 科 学 部	国 際 教 養 学 系	140	(注)
	経 営 科 学 系	240	
	理 学 系	75	
医 学 部	医 学 科	※90	
	看 護 学 科	70	
合 計		615	

※医学部医学科の募集人員は、一般枠 60 人、地域医療枠 25 人、神奈川県指定診療科枠 5 人を合わせた人数です (3つの枠の内容については、9頁参照)。

(注) 上表中、国際総合科学部国際総合科学科における学系と2年次に進級できるコースは、下表を前提としています。ただし、1年次在学中に各コースが指定する科目の履修と成績により、他の学系のコースに進級することも可能です。

### 《学 部 構 成》



## 2. 出願資格

平成 22 年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する「受験すべき教科・科目」をすべて受験した者とし (7 頁～9 頁の「大学入試センター試験において受験すべき教科・科目」を参照)。

\*本学において、個別の入学資格審査 (高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定) を希望する者は、平成 21 年 9 月 11 日 (金) までに横浜市立大学アドミッションズセンターへ申し出てください。

《特別措置》 受験および修学上特別な配慮を必要とする身体に障害を有する入学志願者は、あらかじめ本学と事前相談を行い、その事前相談結果を出願書類に添付する必要があります。該当者は、本学アドミッションズセンター (入学試験事務室) より事前相談申請書の交付を受け、この申請書に身体障害の内容・程度等を証明する書類、その他本学が指示する書類等を添えて、平成 21 年 12 月 11 日 (金) までに申請してください。

### 3. 出願期間

平成22年1月25日(月)～2月3日(水) 郵送必着

### 4. 選抜方法

#### (1) 第1次選抜

入学志願者が次に掲げる倍率を超えたとき、平成22年度大学入試センター試験の成績および調査書等により、第1次選抜を行うことがあります。

学部	国際総合科学部			医学部	
学科 学系	国際総合科学科			医学科	看護学科
	国際教養学系	経営科学系	理学系		
倍率 (人数)	10 (1,400人)	10 (2,400人)	10 (750人)	約3.3 (297人程度)	10 (700人)

#### (2) 個別学力検査(第2次試験)

○個別学力検査実施日

学部	学科・学系		試験実施日
国際総合科学部	国際総合科学科	国際教養学系	平成22年2月26日(金)
		経営科学系	平成22年2月25日(木)
		理学系	平成22年2月26日(金)
医学部	医学科		平成22年2月25日(木)
			※2月26日(金)
	看護学科		平成22年2月25日(木)

※医学部医学科 小論文・面接

○試験場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス(横浜市金沢区瀬戸22-2)

#### (3) 最終合格者の決定

大学入試センター試験の成績、個別学力検査(第2次試験)の成績、調査書等を総合的に判断し、各学科・学系で定める合否判定基準に従い、最終合格者を決定します。

#### (4) 合格発表日 平成22年3月6日(土)

横浜市立大学 金沢八景キャンパス掲示場に、受験番号により発表します。

#### (5) 入学手続日 平成22年3月11日(木)・12日(金)

# 国際総合科学部 国際総合科学科

## 1 大学入試センター試験において受験すべき教科・科目

学 系	教 科	科 目	教科科目数	摘 要
国際教養学系 経営科学系	国 語	『国語』（古文・漢文含む）	3教科3科目	1. 外国語に加えて、国語、地歴・公民、数学のうち <u>2教科</u> を受験してください。 2. 国語、地歴・公民、数学の <u>3教科</u> を受験した場合は、高得点の <u>2教科</u> を採用します。 3. 地歴・公民、数学で <u>2科目</u> を受験した場合は、それぞれ高得点の <u>1科目</u> を採用します。
	地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目		
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目		
	外国語	『英語』（リスニングを含む） <b>（必須）</b>		
理 学 系	数 学	『数学Ⅰ・数学A』と『数学Ⅱ・数学B』の2科目	3教科5科目	理科で3科目を受験した場合は、高得点の <u>2科目</u> を採用します。
	理 科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から2科目		
	外国語	『英語』（リスニングを含む） <b>（必須）</b>		

(注) 『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

## 2 個別学力検査(第2次試験)における科目

学 系	科 目	備 考
国際教養学系	論 文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
経営科学系	論 文	社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
理 学 系	論 文 (総合問題を含む)	自然科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。 (一部数学および理科の問題を含む(注))

(注) 数学は、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、数学A・B・Cです。数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。理科は、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱからいずれかを選択です。物理Ⅱの出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

## 3 配点・審査基準および合否判定基準

○第1次選抜を実施した場合

次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

○最終合否判定

次表の大学入試センター試験の配点と個別学力検査(第2次試験)の配点の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

### (1) 国際教養学系・経営科学系

試験区分	教 科			合計点
	外国語	国 語、地 歴・公 民、数 学	論 文	
大 学 入 試 センター試験	※300	得点の高い2教科または受験した2教科を採用 各 200 合計 400		700
個別学力検査 (第2次試験)			300	300
合 計	300	400	300	1,000

※＜外国語(英語)の配点換算方法＞

[筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2 = 300点



## (2) 理学系

試験区分	教 科				合計点
	外国語	数 学	理 科	論 文	
大学入試センター試験	※300	2科目 各100 合計200	2科目 各100 合計200		700
個別学力検査 (第2次試験)				400	400
合 計	300	200	200	400	1,100

※<外国語(英語)の配点換算方法>

[筆記(200点満点) + リスニング(50点満点)] × 1.2 = 300点

## 医 学 部 医 学 科

### 1 大学入試センター試験において受験すべき教科・科目

学 科	教 科	科 目	教科科目数	摘 要
医 学 科	国 語	『国語』(古文・漢文含む)	5教科7科目	1. 地歴・公民で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を採用します。 2. 理科で3科目を受験した場合は、高得点の2科目を採用します。
	地 歴 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目		
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』と 『数学Ⅱ・数学B』の2科目		
	理 科	「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 「地学Ⅰ」から2科目		
	外国語	『英語』(リスニングを含む) <b>(必須)</b>		

(注) 『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

### 2 個別学力検査(第2次試験)における教科・科目

学 科	教科等	科 目 ・ 内 容 等
医 学 科	数 学	『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C』(必須)
	理 科	『物理Ⅰ・物理Ⅱ』、『化学Ⅰ・化学Ⅱ』、『生物Ⅰ・生物Ⅱ』から2科目選択
	外国語	『英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング』(必須)
	小論文	与えられたテーマについて、1,000字程度で論述する。 論理的思考力、記述力などを評価します。(必須)
	面 接	医学を志す動機、医学・医療に対する適性、意欲、社会的適応力などを総合的に評価します。(必須)

(注1) 数学B・Cの出題範囲は、数列、ベクトル、行列とその応用、式と曲線です。

(注2) 物理Ⅱの出題範囲は、力と運動、電気と磁気、原子・分子の運動です。

(注3) 化学Ⅱの出題範囲は全範囲です。

(注4) 生物Ⅱの出題範囲は全範囲です。

(注5) 必須科目および選択科目のすべてを受験していない場合は、審査の対象になりません。

### 3 配点・審査基準および合否判定基準

○第1次選抜を実施した場合

次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

○最終合否判定

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査（第2次試験）の配点の合計点および面接評価を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い順に、出願枠の第1志望から優先して合格とします（出願枠については、「4 出願枠について」をご覧ください）。第2志望または第3志望まで志望した受験生は、第1志望で合格とならなかった場合、第2志望または第3志望での合格の可能性があります。ただし、「地域医療枠」および「神奈川県指定診療科枠」については、応募・選考状況によっては、合格発表数が募集人員に満たないことがあります。

どの志望枠で合格となったかについては、合格発表時に郵送する合格通知書に記載します。

なお、面接評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

試験区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	合計点	面接
大学入試センター試験	200	100	200	200	※200		900	
個別学力検査(第2次試験)			400	400	400	100	1,300	*
合計	200	100	600	600	600	100	2,200	*

\*『面接』は数段階で評価します。

※＜大学入試センター試験における外国語（英語）の配点換算方法＞

[筆記（200点満点）＋リスニング（50点満点）] × 0.8 = 200点

#### 4 出願枠について（「一般枠」、「地域医療枠」および「神奈川県指定診療科枠」）

医学部医学科には、「一般枠」、「地域医療枠」および「神奈川県指定診療科枠」の3つの出願枠があり、3つの枠への併願、3つの枠のうち2つの枠への併願、または1つの枠への専願のいずれかの方法で出願することができます。複数の枠に出願する場合は、志望順位をつけて出願します。

※いずれの出願枠についても、出身地および出身高等学校所在地による制限はありません。

##### （1）一般枠（募集人員 60人）

従来の前期日程として募集してきた枠で、入学後6年間の医学科教育カリキュラムを履修します。

##### （2）地域医療枠（募集人員 25人）

###### ①神奈川県地域医療枠（募集人員 20人）、②市大地域医療枠（募集人員 5人）

この地域医療枠は①②とも同じ条件で募集を行います。従って出願・合否判定に際しては同じ扱いとなります。また、入学後のカリキュラムについても以下のとおり同じとなります。

入学後、6年間の医学科教育カリキュラム（一般枠・神奈川県指定診療科枠と共通）を履修し、卒業後は2年間の初期研修を受けます。その後、3年間の専門医研修（下記注参照）を経て、将来、地域医療の指導的・中核的役割を担えるよう4年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

（注）専門医研修等を通じた診療活動を行う医療機関は、横浜市立大学の両附属病院をはじめ神奈川県内の県立病院、公立病院、共済病院等の県内準公立病院であり、研修開始の半年程前に本人の意向を確認した上で、研修内容の修得状況や研修を行う医療機関の医師配置状況等により決まります。

##### （3）神奈川県指定診療科枠（募集人員 5人）

この枠は、将来、産（産婦人）科、小児科、麻酔科および外科のうち、神奈川県が5年次終了時に指定する診療科の医療に、初期研修修了後従事することを目的とした募集枠です。そのため、神奈川県から本学の学費および生活費相当額の修学資金の貸付を受けることとなります。借り受けた修学資金については、本学を卒業し、初期研修修了後に本学在学期間である6年間の1.5倍の9年間に神奈川県内における医療機関において指定した診療科の医療に従事することで返還の義務はなくなります。

入学後のカリキュラムについては、6年間の医学科教育カリキュラム（一般枠・地域医療枠と共通）を履修し、特に6年次においては、診療参加型臨床実習（下記注1参照）などで、指定する診療科に重点を置いた教育プログラムを受けます。卒業後は2年間の初期研修修了後、修学資金返還免除対象期間（9年間）として3年間の専門医研修（下記注2参照）を経て、将来、地域における産科等周産期医療を担う指導的・中核的役割を担えるよう6年間の地域医療実践コースによる一貫プログラムの教育を受けます。

（注1）診療参加型臨床実習とは、見学型の臨床実習とは異なり、学生が診療チームの一員として参加する実践的な臨床実習です。

（注2）専門医研修等を通じた診療活動を行う医療機関は、横浜市立大学の両附属病院をはじめ神奈川県内の県立病院、公立病院、共済病院等の県内における周産期医療の中核を担う病院であり、初期研修修了の半年程前に本人の意向を確認した上で、研修内容の修得状況や研修を行う医療機関の医師配置状況等により決まります。

# 医 学 部 看 護 学 科

## 1 大学入試センター試験において受験すべき教科・科目

学 科	教 科	科 目	教科科目数	摘 要
看護学科	国 語	『国語』（古文・漢文含む）	4教科4科目	1. 数学で <u>2科目</u> を受験した場合は、高得点の <u>1科目</u> を採用します。 2. 理科で <u>2科目以上</u> を受験した場合は、高得点の <u>1科目</u> を採用します。
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目		
	理 科	「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目		
	外国語	『英語』（リスニングを含む） <b>（必須）</b>		

(注)『英語』でリスニングテストを受けなかった場合、または受験すべき教科・科目を受験していない場合は、出願資格がありませんので注意してください。

## 2 個別学力検査（第2次試験）における教科・科目

学 科	科 目	備 考
看護学科	論 文	保健・医療・福祉の分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。

## 3 配点・審査基準および合否判定基準

○第1次選抜を実施した場合

次表の大学入試センター試験の配点の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。

○最終合否判定

次表の大学入試センター試験の配点、個別学力検査（第2次試験）の配点の合計点を審査基準とします。

合否判定は、合計得点の高い者から順に合格とします。ただし、個別学力検査（第2次試験）の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

試 験 区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	論 文	合 計 点
大学入試センター試験	100	100	100	※200		500
個別学力検査（第2次試験）					250	250
合 計	100	100	100	200	250	750

※＜大学入試センター試験における外国語（英語）の配点換算方法＞

[筆記（200点満点）＋リスニング（50点満点）] × 0.8 = 200点

## 特 別 選 抜

### 特別選抜募集人員

（単位：人）

特別選抜の種類	国際総合科学部			医学部
	国際教養学系	経営科学系	理 学 系	看 護 学 科
推薦入学（指定校制）	40	70	35	10
A O 入 試	30	10	10	—
海外帰国生特別選抜	若干名	若干名	若干名	—
私費外国人留学生特別選抜	若干名	若干名	若干名	—

(注)各特別選抜において志願者数が募集人員に満たない場合および各選抜の合否判定基準において受験者が一定の水準を満たさない場合は、合格者数が募集人員に満たないことがあります。この場合、その欠員分を一般選抜の募集人員に加えることとします。

## 1. 推薦入学(指定校制推薦入学)

### (1) 募集人員

国際総合科学部国際総合科学科	国際教養学系	40人
	経営科学系	70人
	理学系	35人
医学部看護学科		10人

### (2) 出願資格・要件

次に掲げる基準をいずれも満たす者で、本学が指定する高等学校の学校長が推薦する者

- ①本学が指定する高等学校を平成22年3月に卒業見込みの者
- ②高等学校在学中の学業成績が一定基準以上の者（詳細は指定高等学校宛に通知します）

(3) 出願期間 平成21年11月1日（日）～4日（水） 消印有効

(4) 面接日 平成21年11月21日（土）

(5) 評価方法 書類審査および面接

(6) 合格発表日 平成21年11月30日（月）

(7) 入学手続日 平成21年12月25日（金）

(8) その他 指定高校宛に、個別に推薦依頼を行います。

## 2. A O入試

本学の理念や教育内容をよく理解し、入学後の目標設定等が明確であり、本学での学習を強く希望する者を対象にA O入試を実施します。

### (1) 募集人員

国際総合科学部国際総合科学科	国際教養学系	30人
	経営科学系	10人
	理学系	10人

### (2) 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ①高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を卒業した者および平成22年3月に卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成22年3月に修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成22年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### (3) 出願要件

次のいずれにも該当する者

- ①横浜市立大学と国際総合科学部の理念や教育内容をよく理解し、国際総合科学部への志望理由や入学後の構想が明確で、それを実現するに十分な意欲と能力を有する者
- ②本学への入学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者
- ③学業、社会人経験などを通じて、さまざまな活動に積極的に取り組み、成果をあげていると自己評価できる者
- ④国際教養学系・経営科学系では、TOEFL-PBT417（CBT107、iBT35）以上、TOEIC400以上、または実用英語技能検定（英検）準2級以上のスコア・級を有し、公式な成績証明書が提出できる者  
理学系では、TOEFL、TOEIC、または実用英語技能検定（英検）を受験し、公式な成績証明書（スコア・級は問わない）が提出できる者  
（ただし、TOEFL-ITP、TOEIC-IPは認められません）  
なお、平成23年度入試より、理学系においてもスコア・級の基準を設定する予定です。

(4) 出願期間 平成21年9月1日（火）～9月4日（金） 消印有効

(5) 第1次選考  
合格発表日 平成21年10月2日（金）

(6) 第2次選考日 平成21年10月17日(土)

(7) 選考方法

	備 考
第1次選考	出願書類審査 プレゼンテーション(発表) 概要1「これまでの取り組みで自己評価できるもの」 プレゼンテーション(発表) 概要2「志望理由・入学後の目標」 TOEFL・TOEIC・英検の成績証明書 調査書 等
第2次選考	面接審査 プレゼンテーション(発表)、質疑等
合格者の決定	出願書類により第1次選考を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。 第2次選考は、書類審査の評価と面接の評価を総合評価して合格者を決定します。

(8) 合格発表日 平成21年10月26日(月)

(9) 入学手続日 平成21年12月25日(金)

### 3. 海外帰国生特別選抜

(1) 募集人員

国際総合科学部国際総合科学科 国際教養学系 若干名  
経営科学系 若干名  
理学系 若干名

(2) 出願資格

次の①および②のいずれにも該当する者

①日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者で、外国で学校教育を受けたことがある者のうち、次のア～ウのいずれかに該当する者

※外国に設置されている教育機関であっても日本の教育制度に基づく在外教育施設を除く

ア 外国において、学校教育における12年の課程のうち、最終学年を含む課程に2年以上継続して在学し、2008年4月1日から2010年3月31日までに卒業(修了)した者、もしくは卒業(修了)見込みの者

イ 2008年4月1日から2010年3月31日までに、日本国内の高等学校等を卒業した者または卒業見込みの者のうち、中・高等学校を通じて3年以上外国の学校で教育を受け、かつ、日本国内の高等学校等の在籍期間が2年未満の者

ウ 外国において、国際バカロレア事務局から、2008年または2009年に国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を授与された者で、2010年4月1日までに18歳に達する者(1992年4月1日以前に生まれた者)

②次のいずれかの成績以上の者

ア TOEFL - iBT 48点以上 (PBT 460点以上、CBT 140点以上)

イ TOEIC 500点以上

(3) 出願期間 平成21年10月14日(水)～10月16日(金) 消印有効

(4) 選考日 平成21年11月14日(土)

#### (5) 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系 経営科学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理 学 系	小論文	高等学校での学習状況を判断するため、理科の問題を含みます。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

#### (6) 合否判定基準

小論文（配点100点）、面接（配点100点）の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

(7) 合格発表日 平成21年11月24日（火）

(8) 入学手続日 平成21年12月25日（金）

### 4. 私費外国人留学生特別選抜

#### (1) 募集人員

国際総合科学部国際総合科学科	国際教養学系	若干名
	経営科学系	若干名
	理学系	若干名

#### (2) 出願資格

外国人（在留資格が永住の者を除く。また、日本国籍との二重国籍者は含まない）で、次の①、②、③のいずれにも該当する者

①外国において日本国外の学校教育制度による12年の課程を修了し（2010年3月までに修了見込みの場合を含む）その国において大学入学資格を有する者およびこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

\*「12年の課程」に日本の学校での在学期間（外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合も含む）が含まれる場合は、中学・高校を通算して在学期間が2年以内であり、かつ卒業した高校が外国の学校（日本にある外国人学校を含む）であれば出願資格を認める。

\*準ずる者とは、外国の検定試験合格者、外国人を対象とする準備教育課程の修了者、日本国内に設置された外国の教育施設の修了者

○文部科学大臣が指定した者（国際バカロレア取得者、独アビトゥア取得者、仏バカロレア取得者）および国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程の修了者で、2010年4月1日までに18歳に達する者

○その他、本学において上記と同等の学力を有すると認めたる者

②独立行政法人日本学生支援機構が2008年11月または2009年6月に実施された日本留学試験を受験し、次の成績以上の者（1回の試験において、下表の要件を満たしていること）

学 系	受 験 科 目	試 験 成 績
国際教養学系 経営科学系	日本語、数学（コース1）、総合科目	日本語は55%以上 数学(コース1)と総合科目は50%以上
理 学 系	日本語、数学（コース2）および理科（「物理・化学・生物」から2科目）（合計4科目）	日本語は55%以上 数学(コース2)は50%以上 理科は2科目の合計が50%以上

③英語について

次のいずれかの成績以上の者

ア TOEFL-iBT 43点以上（PBT 443点以上、CBT 127点以上）

イ TOEIC 460点以上

ただし、英語を教授言語とする学校の出身者は不要。

(3) 出願期間 平成21年10月14日（水）～16日（金）消印有効

(4) 選 考 日 平成21年11月14日（土）

### (5) 選考方法

学 系	科目等	備 考
国際教養学系 経営科学系	小論文	人文科学・社会科学分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	志望動機、関心のある分野、将来の進路などに関する質問を通じ、学習意欲、理解力、表現力などを総合的に評価します。
理 学 系	小論文	自然科学分野に関する課題を提示し、問題意識、理解力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	理科に関する知識を含み、自然科学に対する学習意欲や適性などを総合的に評価します。

### (6) 合否判定基準

小論文（配点 100 点）、面接（配点 100 点）の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者を合格とします。

(7) 合格発表日 平成 21 年 11 月 24 日（火）

(8) 入学手続日 平成 21 年 12 月 25 日（金）

## 編 入 学 選 抜

### 医 学 部 看 護 学 科

(1) 募集人員 20 人

(2) 編入年次 3 年次

### (3) 出願資格

次のいずれかに該当する者

①看護系短期大学を卒業した者または平成 22 年 3 月に卒業見込みの者

②学校教育法第 90 条第 1 項の規定により大学入学資格を有する者で、看護系専修学校（修業年限が 2 年以上で課程修了に必要な総時間数が、1,700 時間以上である専修学校の専門課程）を修了した者または平成 22 年 3 月修了見込みの者

(4) 出願期間 平成 21 年 8 月 19 日（水）～8 月 21 日（金） 消印有効

(5) 選考日 平成 21 年 9 月 12 日（土）

### (6) 選考方法

学 科	試験科目	備 考
看 護 学 科	看護学	基礎看護学、成人看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学の中から出題
	小論文	保健・医療・福祉の分野に関する課題（英文を含む）を提示し、問題意識、理解力、表現力、論理的思考力などを総合的に評価します。
	面接	個人面接

### (7) 合否判定基準

看護学（配点 200 点）、小論文（配点 200 点）、面接（配点 100 点）の合計点を審査基準とし、合計得点の高い者から順に合格とします。ただし、各試験科目の評価が一定の水準以下の場合には合格しない場合があります。

(8) 合格発表日 平成 21 年 9 月 28 日（月）


(9) 入学手続期間 合格発表日～平成 21 年 10 月 9 日（金） 消印有効

## 募集要項（願書）等の入手方法

平成22年度の「一般選抜」・「AO入試」・「海外帰国生」・「私費外国人留学生」・「看護3年次編入学」の募集要項（願書）等は、以下の方法で請求してください。なお送付先は、日本国内のみとなります。

### 1 インターネットの専用資料請求画面から請求する方法



大学のホームページから  テレメールの本学専用資料請求画面にアクセスできます。  
詳しくは、横浜市立大学ホームページ <http://www.yokohama-cu.ac.jp>、  
携帯サイト <http://ycu.jp> をご覧ください。  
また、このQRコードを読み取ることにより、携帯用の資料請求画面に直接アクセスできます。

### 2 自動音声応答電話またはインターネットにて、資料請求番号により請求する方法

(1) テレメールの自動音声応答電話、またはインターネットにアクセスしてください。



テレメール

自動音声応答電話	IP電話 050-2015-0555
一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。	
インターネット	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> (パソコン・携帯端末とも共通)

(2) 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	送料（予定）	発送開始予定
大学案内	562622	390円	6月上旬
一般選抜第2次試験問題・解説集	562582	200円	
一般選抜募集要項（国際総合科学部）	562282	200円	11月中旬
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	562292	390円	
一般選抜募集要項（医学部医学科）	582282	200円	11月中旬
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	582292	390円	
一般選抜募集要項（医学部看護学科）	582482	200円	11月中旬
一般選抜募集要項（〃）+大学案内	542482	390円	
AO入試募集要項	582612	200円	7月下旬
AO入試募集要項+大学案内	542612	390円	
海外帰国生募集要項	542632	140円	9月上旬
海外帰国生募集要項+大学案内	542642	390円	
私費外国人留学生募集要項	582592	140円	
私費外国人留学生募集要項+大学案内	542592	390円	
看護3年次編入学募集要項	582632	200円	6月下旬
看護3年次編入学募集要項+大学案内	542622	390円	

(3) あとはガイダンスに従って登録してください。

- ※ 自動音声応答電話を使ってテレメールを初めて利用される場合、ご住所・お名前等の登録は音声録音となります。ガイダンスの後の「ピッ」という発信音の後に一呼吸おいてハッキリとお話してください。
- ※ 自動音声応答電話でもインターネットでも、テレメールの暗証番号（数字4桁）は共通です。自動音声応答電話は初回利用から48時間経過後、登録した暗証番号を利用することができます。インターネットの場合はすぐに利用できます。
- ※ 受付から2～3日程で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。なお5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。
- ※ 送料は、お届けする資料に同封されている用紙を用い、コンビニエンスストア、ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いください。

### 3 郵便局窓口で請求する場合（9月より受付開始）

10月1日より郵便局（簡易郵便局を除く）に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口でお申込みください。受付から1週間程度で資料が届きます。なお、郵便局用願書請求カタログは9月以降、高等学校で入手できる場合もあります。

#### 1～3の請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター TEL: 050-2015-5050 (月～金 9:30～18:00)

## 横浜市立大学 アドミッションズセンター

住所: 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22番2号  
TEL: 045-787-2054・2055 (直通)

※事務取扱時間 8:30～17:15 (土日祝を除く)

## 金沢八景キャンパス

〒236-0027  
横浜市金沢区瀬戸22-2  
《アクセス》  
京浜急行  
「金沢八景駅」下車徒歩5分  
シーサイドライン  
「金沢八景駅」より徒歩6分